

あなたもお読みください  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3400円  
日曜版1カ月 800円

# 手良民報

生活相談はお気軽に  
電話 78-0943

赤旗読者に配達

発行  
日本共産党・手良支部

## 1億5千万円の水路改修工事計画

### 手良土地改良区

手良土地改良区では国の農村漁村活性化プロジェクト支援交付金を受けて中坪工区（古田）と八ツ手六ツ塚工区の水路改修工事の計画を進めています。

26年度に水路の改修箇所を作成し、これを伊那市と長野県土地改良事業団体連合会が現地確認の上決定し、国の承認を得て27年度より工事に入る予定です。

事業の内容は予算金額約1億5千万円（中坪工区）1億5千万円余、六ツ塚工区（650万円）、水路の全長1万8千mに



pixta.jp - 3090393

### ひろみ通信 167

#### TPP交渉参加 断固阻止！

安倍首相は、3月15日に環太平洋経済連携協定（TPP）交渉に参加する意思表明を行ないました。

TPP参加で日本の農業と農村は壊滅的な被害を受けます。農村が荒廃すれば、災害などの危険も出てきます。日本共産党は、TPP参加阻止の一点で他団体と協力して闘います。私も毎週街頭宣伝を行っています。

3月18日  
市議会議員 柳川ひろみ

自民党は総選挙の時に「聖域なき関税撤廃を前提とするTPP参加には反対」と公約しましたが、早くも公約は破られようとしています。

日米共同声明では日本



### 感謝の会 見まもり隊・読み聞かせ

3月5日の朝、手良小学校において子どもたちの安全見まもり隊と読み聞かせボランティアへの感謝の会が開かれました。

子ども達が安心して登下校したり、読み聞かせを楽しみにしたりして毎日の学校生活が出来たと代表して6年生から感謝の言葉と合唱があり、校長先生からお

### 詐欺（さぎ）に 注意しましょう

先月、たて続けに二回も同じ電話がかかってきました。

「一月にご注文を戴いた健康食品を、遅くなりましてが明日発送しますのでよろしくお願ひします」という本当のような作り話に驚いた。

ああ、やっぱりそうだったのかと直感。「いいえ家では注文していません。間違いでしょ、要りません」ときっぱり断つても揚げ足を取つて中々電話を切るつもりがない。

それから数日後、また同じ内容の電話がかかってきた。

「あれ、またですか、だまされませんかからね」と断ると、「そこまで云わなくても良いでしょう」と怒鳴られた。ちよつと恐かったけど被害は未然に防いできた。

皆さん、身に覚えのない事はきっぱり断りましょう。ちよつと勇気があるけどね (K)

礼の言葉がありました。その後それぞれのグループに分かれて懇談をしました。

### 各地で健康チェック 医療生協手良支部

上伊那医療生協手良支部では地域のみなさんの健康を守るため各地域で健康チェックを行なっています。

この間では2月15日に竹之内集会所で7名、3月14日に東松集会所で3名、3月16日に八ツ手高齢者クラブで18名が参加して行われました。

健康チェックでは血圧測定、骨密度検査、体脂肪（内臓脂肪）検査、尿検査、便検査など、「北国の春」にあわせた簡単な転倒防止等のタオル体操などを行いました。

2月21日には野口の4名が生協病院で動脈硬化度の検査を行いました。

中坪高齢者クラブでは3月27日に行なつて予定ですが、4月には各地区での実施を計画しています。

昨年3月の下手良の健康チェックでは大腸チェックで陽性の反応があり、早期に見つけたので入院4日で済んだということがあり早期発見の大切さをあらためて感じさせられました。



タオル体操

### とらさとの

近くには手良へ移り住んで地域に溶け込み区の役員をしたり、また子どもが3人いる夫婦で区へ入って地域の人と繋がりをもっている人達もお出でになるが、最近手良へ移り住んでもなかなか常会や区へ入らない人が増えているようである。差しあたっては家庭ごみの処理や消防・防災などで地域と繋がりが無いといろいろと不都合のことが生じてくる。高齢社会を迎えてお互いに助け合い支えあつていく地域の絆が必要な時代である。常会や区に入つて是非地域のみなさんと手をつないで一緒にやってみよう。たいと思つ、しかし、常会も区も自治組織であるので強制的に加入もらうことは出来ない。あくまでも本人の自主性にまかせなければならない。

「戦後の労働・青年運動をはじめとするさまざまな社会運動の体験で多くの国民が『みんなが幸せになる』という運動に参加してきた。労働運動をはじめそれらの運動も後退してその体験も少なくなり、未来の希望にむけて手をつなぐことを忘れていく」と何かの本で読んだことがある。地域に入り人と繋がることは煩わしさもあるが楽しみや喜びもある。常会や区にまだ入っていない方には是非入っていただくよう自主性を促したい。(T)

### 「手良誌」編集を振り返って

文化財に詳しい山岸さんは、まさにうってつけの人選でした。

副委員長に下手良から宮原達明さん、八ツ手から登内博明さん、野口から北原が選任されました。

以来足掛け7年、40回の編集会議を重ね、資料収集、執筆分担、執筆、粗原稿読み合わせ、修正、校正の作業を経て漸く475ページの「手良誌」が出来上がったのでした。

平成16年、手良活性化促進会議で村史刊行のための編纂研究委員会を立ち上げていくことが決まり、18年に同研究委員会の答申を受けて手良村史編纂準備委員会が発足しました。

その準備委員会が先ず刊行委員会を選任し、正式に「手良誌」という名称が決まりました。

ついで刊行委員会が19名の編集委員会を選任し、編集が進められることになりました。

委員長は、長く伊那市文化財審議委員を務められた山岸久男さんが選ばれました。手良のみならず広く伊那市或いは上伊那の歴史や

頒布価格は3000円と、この手のものとしては格段な値段になりましたが、各区からの補助、市の地域支援金などもいただき可能となったものです。

(一)「手良誌」誕生までの道のり

前置きが長くなりましたが、執筆にまつわることを書いて欲しいという「民報」編集氏のお求めがあり、拙い筆をとることになりました。

俗に「ローマは一日にして成らず」という諺がありますが、「手良誌」も誕生までの長い道のりがありました。その事を抜きにしては片手落ちとなるでしょう。もともと手良村の歴史をまとめたという願いは戦前からありました。

ご時勢に、ついて行けない年寄りもどかしさもある。しかし、このままで大丈夫と思ったりして、これ借りてゆくからね、はい大丈夫です、とついで、という丁寧な返事が返ってきた。

昔は大丈夫は此の挨拶の間には入らなかつたよなあと日本語の不思議さが気になった。

少し前までは、買物の清算のとき良くき万円からとか、何円からというとても不自然に思える言葉に戸惑った時代もあった。

しかし、今では全く聞かれない過去の言葉になってしまったけど、テレビから次々流れる発音言葉がアツト思つ間に日本中に広がる

昭和の大恐慌のさなか、昭和3年に「手良村報」が発刊され、昭和15年まで続きましたが、村内のニュースはもとより、国政、県政、郡の動向等あらゆる情報が網羅された画期的な大変すぐれた村報でした。

その中には村の歴史を纏めようという動きについても報じられていて、郷土史研究会が開かれた様子が載っています。

しかし、国家総動員法が発動され、時勢はひたすら戦争へと向かう中で村史はおろか村報まで発刊中止に追い込まれていきました。

明治憲法下で限られた形であれ認められていた田舎表現、言論等一切の自由が無くなつていきました。

(北原明)

### 生活雑記 108

#### 大丈夫は大丈夫

小松和江

最近、行く先々で大丈夫、という言葉がなんだか不思議な意味で伝わってくるような気がしている。

年寄りのひがみなのか、流行語について行けない世の中の速さをどこで見失っているのかと思つたりして悩んでいる。

孫との対話の中で、これオヤツに食べるかと聞いたら、大丈夫、家に有るからと云つ返事が返ってきた。大丈夫、お婆ちゃん、心配しないでという事を簡単に

伝えるくれたのかも知れない。ある時、送金の振込みをお願いした時には、はい、大丈夫です。お預かりしますという丁寧な返事が返ってきた。

昔は大丈夫は此の挨拶の間には入らなかつたよなあと日本語の不思議さが気になった。

少し前までは、買物の清算のとき良くき万円からとか、何円からというとても不自然に思える言葉に戸惑った時代もあった。

しかし、今では全く聞かれない過去の言葉になってしまったけど、テレビから次々流れる発音言葉がアツト思つ間に日本中に広がる



「長年、慣れ親しんでいた家で退職後の人生を過したい」とのことでした。このリフォームについて請け負った有賀工務店さんにお聞きしました。

施主さんからは出来るだけ古いものを残したいという希望でしたので、昔、囲炉裏(いろり)の煙抜きに使った小屋根はそのまま残して空気の流通をよくしました。

昔の家は材料もいりものを使っていますのでそのまま使いましたが、柱と柱に「ほぞ差し」で組み込まれた差鴨居も残し、穴のあいた柱などは埋木をして修復しました。

昔の置石の基礎を変えて曲がりやよるびを直し、耐力壁を作り耐震強度も高めました。

断熱材も使つて冬の防寒対策も考えました。

古い家屋のリフォームですが、法的な問題は全部クリアしました。

リフォームは工場て刻んでいくのと違って現場合わせが多く、手間はかかりますので完成までに約七ヶ月かかりました。

施主さんには希望通りのこだわりの住宅が出来て喜んでいただけました。(高)

### 漆喰壁の落ち着いた家屋に リフォームで

八ツ手北部のバス停近くの石垣の上に漆喰壁の落ち着いた家屋が見えます。

昨年の暮にリフォームされたTさんの住宅です。

玄関を入ると土間はたたきになっており壁の漆喰の白さと腰板の色合いが対照的で落ち着いた雰囲気醸し出されています。

有限の資源を有効に活用することは大事なことですが、しかし、リフォームは手間と経費がかかりますが、新築でなく何故リフォームにしたかをTさんにお聞きしました。

「長年、慣れ親しんでいた家で退職後の人生を過したい」とのことでした。このリフォームについて請け負った有賀工務店さんにお聞きしました。

施主さんからは出来るだけ古いものを残したいという希望でしたので、昔、囲炉裏(いろり)の煙抜きに使った小屋根はそのまま残して空気の流通をよくしました。

昔の家は材料もいりものを使っていますのでそのまま使いましたが、柱と柱に「ほぞ差し」で組み込まれた差鴨居も残し、穴のあいた柱などは埋木をして修復しました。

昔の置石の基礎を変えて曲がりやよるびを直し、耐力壁を作り耐震強度も高めました。

断熱材も使つて冬の防寒対策も考えました。

古い家屋のリフォームですが、法的な問題は全部クリアしました。

リフォームは工場て刻んでいくのと違って現場合わせが多く、手間はかかりますので完成までに約七ヶ月かかりました。

施主さんには希望通りのこだわりの住宅が出来て喜んでいただけました。(高)

### 保育園で紙芝居上演 中坪の歩み研究委員会

中坪の歴史を振り返り、まとめ、それを将来に引き継いで行くことを目標に活動している「中坪の歩み研究委員会」は、2月28日の午前中、手良保育園で紙芝居を上演しました。

今から約200年前の江戸時代に当時の横綱にあたる「雷電」が中坪村にやってきました。「中坪村に雷電が」と、中坪にある清水庵の由来について観音様が夢の中で語る「清水庵物語 観音夢語り」の2本を上演しました。

子ども達は「面白かった」「また見たい」と子どもなりに感じ、興味をもつたようです。

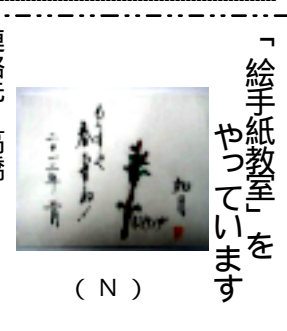
研究委員会では「他に、昔の生活や農作業について孫が祖母に聞く、むらのむかし」、祇園祭りに瓜を供えるという全国的にも珍しい中坪の瓜天王について紹介した「中坪の瓜天王」、美篤との境にある六道原の移り変わりについて祖父と孫が語りあつた「六道原物語」を製作しました。

研究委員会では要請があれば、ボランティアとしていくらかでも出前上演するかと利用を呼びかけています。

### 絵手紙教室

「絵手紙教室」をやっています

連絡先 高橋 (七八〇九四三)



(N)

### 会員減少 手良遺族会も今

高齢化社会を迎えて各地の遺族会も会員が減少しその対応に悩んでいます。

高遠の藤沢地区では市の遺族会を退会し、西箕輪もどうしたらいいか検討を迫られています。

手良でも会員が減少し予算が少なくなり、今までに役員手当を減らし役員の出張等の費用を減らし、直会等も参加者負担にしてきました。

手良では戦没者は126人、その家族は約90名ですが会員は半分にも満たなくなつてしまいました。

過日、会員による全体打ち合せ会を持ち、遺族会を存続させるために、会員にはなれないが500円位の協力金なら協力できるという人をお願いすることにしました。

(おながい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋

俳句 春の宵 山岸久男

深緑の木々ゆさ振りつ俄雨  
日足のび暮六つの鐘風なごむ  
投稿の日の迫り来る春の雪  
春の宵野に散策の影まばら  
腰痛やせんかたなしの梅雨ながし



身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋